

1．事業の概要

日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）では、北東アジアの中核である日本、中国、韓国の3カ国の環境大臣が一堂に会し、本地域及び地球規模の環境問題に関する協力について率直な意見交換を行っている。また、本会合は毎年継続して定期的を開催することにより、3カ国の協力関係及び協力プロジェクトの形成・推進を強化するものである。平成19年度は第9回会合（TEMM9）を日本で開催する予定であり、北東アジア地域でのより一層の連携強化、本地域の地球環境保全への貢献などの課題について議論を進めていく。

2．事業計画

事前の準備会合において中国及び韓国と日程や議題等の調整をした後、時期を見て本会合を開催する。また、本会合の前後各1回作業部会を開催し、TEMMプロジェクトの進捗状況等を確認する。

本会合開催後はその成果をとりまとめ、同地域からの環境イニシアティブとして、他の国際枠組みに積極的に発信する。

3．施策の効果

北東アジアの環境管理においてTEMMが主導的な役割を果たすことにより、本地域及び地球規模の環境改善に寄与する。また、TEMMにおける活動、成果を積極的に発信することにより、国際社会に対して社会経済等の状況が異なる国々が効果的に環境協力を行う際のモデルを示すことができる。